

6/30 市役所庁舎増改築・耐震工事

新たな配置で業務スタート

市役所庁舎の増改築耐震補強工事が終了し、6月30日から新しい配置での業務が始まりました。
昨年10月から市民課、税務課など東館での業務は始まりましたが、今回、これまで市役所向かいの総合会館で事務を行っていた福祉部門（いきいき長寿課、こども課、福祉課）が庁舎東館へ移転しました。
市民の皆さまが複数の課で手続きする場合の移動が便利になりました。また、正面玄関の屋根が大きくなっ



市役所全景 西館（左）と東館（右）

た事で、車から雨にぬれることなく出入りができるようになりました。車椅子用のスロープも新しくなりましたので、ぜひご利用ください。（新しい課の配置図については、6月15日号に掲載しています）



こども課と福祉課（東館1階）



新しくなった正面玄関

6/16 桜ヶ丘小学校

生ゴミを肥料に変えよう



残飯を入れてかき混ぜます

6月16日に桜ヶ丘小学校で「生ごみ処理実践学習」が行われ、総合学習の一環として4年生が段ボール箱での発酵・分解による生ごみ処理方法を学びました。
市民ワーキンググループ「生ごみエコサークル」のスタッフが指導にあたり、段ボール箱の中に、もみ殻や培養土、米ぬか、水などを混ぜて床材を作り、残飯を混ぜました。「これで生ごみが減れば、うれしい」という、児童の感想が聞けました。

2

6/24 ばら教室 KANI 交流学習

牛さん豚さんにビックリ!

6月24日に、農業大学校で学生18人と「ばら教室 KANI」の児童・生徒16人の交流学習が行われました。
ブラジル人やフィリピン人の子どもたちは自己紹介の後、梨園や豚舎、牛舎を見学し、大学校生から身ぶり手ぶりを交えた簡単な日本語で説明を受けました。
最初は怖がっていた子ども、お兄さんお姉さんの優しいリードで動物に触れ、楽しい時間を過ごしていました。



「わ～!牛ってかわいいね」

3

7/5・6 可児市音楽祭2008

素敵な歌声と演奏が一堂に

7月5・6日の両日、文化創造センターで「可児市音楽祭2008」が行われました。
この音楽祭は、音楽あふれるまちづくりを目指し、地域で活動する音楽団体が一堂に会して発表することにより、団体の活性化と技術の向上を図るとともに、音楽を鑑賞できる機会を市民へ提供しようというものです。
今回は合唱、吹奏楽、管弦楽、民族音楽など、多様なジャンルの12団体が参加し、小学生を含む幅広い世代の人が、ステージで日ごろの練習成果を披



美しいハーモニーが響きます

露しました。
各団体の代表者が活動紹介や今後の公演予定を話した後、それぞれ15分ほどの演奏を行い、来場者は心のこもった歌唱や、迫力ある演奏を楽しみました。



二胡とピアノのアンサンブル



迫力満点!東濃高校・可児工業高校合同バンド

6/28 女と男のかがやき講演会

男女共同参画「家庭や地域から始めよう」



女性として初の真打となった宝井さん

6月28日、文化創造センターで女と男のかがやき講演会が開催され、市民ら約210人が参加しました。
今回は女性の地位向上を啓発する社会派講演を得意としている、講師の宝井琴桜さんが、「山下さんちの物語」タテからヨコヨコ参画編」と題して講演。男女の役割分担のあり方について語る創作講演を披露しました。張扇（ハリオウギ）で叩きながらリズムよく語る宝井さんの講演に、来場者は笑ったりうなずいたりしていました。

6/5~7/10 市史を読む会

貴重な資料から歴史を読み取って

6月5日から7月10日までの毎週木曜日に「市史を読む会」が開催されました。
この会は『可児市史』第5巻、第6巻の発刊を記念し、古代・近世の部と近・現代の部でそれぞれ3回で行われました。
7月3日のテーマは「明治・大正の教育と教養」で、講師の後藤光伸さんが「明治に学校ができたばかりのころは、子どもが家業の手伝いでなかなか集まらなかった」など、具体的な話をする中で、参加者は一生懸命に市史を読み進めていました。



可児市の歴史は奥深い・・・

6